

大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.24)

◎ PCB廃棄物の受入状況について

近畿2府4県のPCB廃棄物の受入状況は、操業運転開始の平成18年10月から平成22年12月末現在でトランス類が1,363台、コンデンサ類が23,023台、PCB油が305缶となっています。また大阪市内のPCB廃棄物は、トランス類の約65%、コンデンサ類の約86%が受入されています(対登録等データ比)。なお、これまでは漏洩等損傷のないPCB廃棄物を処理しておりましたが、さらに処理を推進するため、漏洩したPCB廃棄物を処理するための施設整備を進めています。

◎ 大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会の開催について

11月5日、此花会館において、第16回大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会(大阪市主催、委員長；福永 勲 元大阪人間科学大学教授)が開催されました。

弊社から操業状況、環境モニタリング調査結果、並びに設備トラブル及び洗浄液の漏洩事故(だよりNo.23で詳報)等の概要とその対策についてご報告し、各委員から貴重なご意見をいただきました。また委員長からは、設備トラブルや事故の再発防止に向けて、設備への先行投資を惜しまないこと、また組織的な検討を踏まえてヒューマンエラーを減らす取り組みをするようご意見を頂きました。頂いた意見を踏まえて、より一層安全で確実なPCB処理を目指して取り組んでまいります。



◎ 環境マネジメントシステム(ISO14001)定期審査について

11月11日、12日の2日間、高圧ガス保安協会よりISO14001定期審査を受けました。審査の結果、不適合は0件で、昨年1月15日の取得から1年目となる定期審査としては、高いレベルとの講評を頂きました。審査員のご意見を踏まえ、今後、さらにレベルアップできるように努めてまいります。

◎ 安全教育について

11月25日、ISO教育を実施しました。内容は上記定期審査の結果報告及び今後の取り組みです。また12月12日は、HHK活動^{※1}をテーマとして、従来の体制をより改善するために、提案された案件に対する優先順位、予想される災害の程度によるリスク評価、改善要領の作成に関する説明を行い、熱心な質疑応答が交わされました。今後も事業所一体となって、安全かつ確実なPCB廃棄物処理を目指してまいります。



受講の様子

※1:作業現場などで、あえて各個人が経験したHHK(H:ヒヤリとしたこと、H:ハットとしたこと、K:気がかりなこと)の情報を公開し、蓄積または共有することによって、重大な災害や事故の発生を未然に防止する活動をいう。

◎ 防災訓練について

12月1日、平成22年度の防災訓練を行いました。今回は通常運転中に震度5強の地震発生を想定し、地震発生時の救助・避難訓練を実施いたしました。今後も万一の場合に備えた緊急訓練を定期的に行ってまいります。



防災訓練の様子

◎ 施設見学の状況について

施設見学者は、平成22年12月末現在で、1,013団体(7,703名)となっています。下の写真は、(社)兵庫県産業廃棄物協会および此花区地域振興会の方々が見学された時の様子です。



(社)兵庫県産業廃棄物協会



此花区地域振興会

◎ 収集運搬事業者説明会の開催について

平成22年6月に「PCB廃棄物収集・運搬ガイドライン」が改訂されたことに伴い、弊社では、漏洩したPCB廃棄物の収集・運搬時の取扱いに関する受入基準の具体的な内容を定め、12月16日に当事業所が入門許可証を発行している収集運搬事業者に対し、説明会を開催いたしました。

受入基準の主な変更内容は、①液漏れしているPCB機器については、ドラム缶に収納されているなどの一定要件を満たしていない場合には、従来の「漏れ防止型金属容器」では、運搬できないことの明確化、②このような一定要件を満たしていない液漏れしているPCB機器については、消防法令などに従った機能、構造を有する運搬容器(今回規定した「液漏れ機器用漏れ防止型金属容器」がこれに該当)に収納して運搬することを定めたこと、③「液漏れ機器用漏れ防止型金属容器」の管理、使用に関する事項を定めたこと、などです。



☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

弊社のホームページを参照または総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学・1階情報公開ルーム(月～金曜日の午前10時から午後4時まで)
- ・予約見学・1階情報公開ルーム、見学者ホールなど
毎週火、木曜日(午前10時から・午後2時から)

【問い合わせ】 日本環境安全事業(株)大阪事業所
TEL:06-6468-0575
ホームページ: <http://www.jesconet.co.jp>



洲男(しまお)



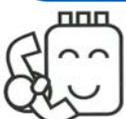
舞子(まいこ)

☆編集後記☆

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。昨年は、トラブル・事故の再発防止に向け、事故ゼロ委員会等を立ちあげ、300件に及ぶ安全作業マニュアルの見直しを行うなどの安全の再構築に取り組みました。本年も引き続き、より一層安全・確実なPCB廃棄物の処理に努めてまいりますので、皆さま方のご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。



☆べん蔵☆



【発行】 日本環境安全事業株式会社
大阪事業所総務課/安全対策課/運転管理課 06-6468-0575
// 営業課(弁天事務所) 06-6575-5575